



第2号

2008年7月11日(金)

発行所

ミント学習教室

〒370-0013 群馬県高崎市萩原町 950-31
Tel/Fax 027-353-1091

紙面案内

記事	連載	特集
好評音声電子教材フォニックスライムがリニューアル	ネイティブ講師がプレーヤーミントを利用するわけ	電子黒板導入で教室はどう変わっていくのか？
一面	二面	

ユーザーサポート 027-353-1091

m-Boxed やプレーヤーミント利用方法のお尋ねや教材のお問い合わせは電話で受け付けています

好評 音声電子教材

フォニックスライムがリニューアルが 7月下旬リリース

日本人学習者向けに開発された音声教材「フォニックスライム」が、公開1年にしてリニューアルされる。改訂版のリリースは7月下旬の予定。

改訂の目玉は、シートリストタイトルの単語列をさらに口ずさみやすいように配列を変えたこと。このリストは、同じ韻律をもつ単語をテンポ良くリズム

カルに発話すること、英語特有の抑揚と発音を身に付けるもの。響きのよさが習得効率を高め、良質な発音を生み出す元となっている。

改訂のもうひとつの目玉はテキストと絵の充実だ。このタイトルは文章の中の単語の発音になじむのを目的としているが、同時に

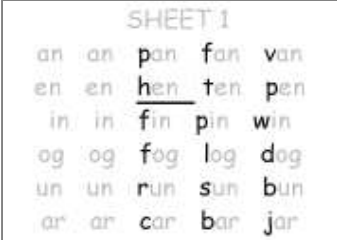
「韻がそろっているのだから、連想機能を高める事ができます。このことは1つのことを忘れても、耳に残るリズムや映像を記憶の中で再現し、捜していたことが思い出すことが可能となるのです。」と阿部先生。

英語のイントネーションを身につけやすいように、フレーズに区切られている。こうした音声的な習得をスムーズにするために欠かせないのが、意味を伝える絵の役割。言葉が持つ内容をストレートに理解できるように、さらに工夫を凝らした。

絵と音声が同時に動き、右脳を刺激する

阿部先生も「絵がハイライトされるため次への期待感をかきたてる」「絵と音声が同時に動き、カラオケ気分ですトレスフリーになるためすぐにリズムに乗って歌い始めることが可能となる」と高く評価している。

プロジェクトを使ったオーディオビジュアルな授業は新しい授業



リズムカルなサウンドが耳に残り自然に口ずさめるようになる。(シートリストタイトルの提示例)

阿部フォード恵子先生監修で 小学校英語対応 魅力倍増

監修は、阿部フォード恵子先生(聖学院大学講師、デイズニール英語教育部門コンサルタント、行田市教委英語活動スーパーアドバイザー)

ザ、港区教委国際科教育研修指導者)にお願いした。昨秋にマイク先生の授業を参観して、プレーヤーミントによるオーディオビジ

ユアルな授業に惹かれていた先生は、「小学校でも問題なく使えるようにしましょう」と、積極的に監修に関わっていただいた。

運営をも可能にする。

「従来の指導では左脳中心の指導傾向が強いため、右脳機能が優れている子どもにとつては負担になりがちであるが、ここでは右脳機能も十分に刺激するため全員参加のクラスとなる」(阿部)と期待が大きい。

電子黒板の導入で加速するITの活用だが、学級担任を支援して英語教育の質的な水準を確保するためには、プレーヤーミント搭載のmovie-Boxed kidsが欠かせない道具となりそうである。

アップデートは無料サービス

movie-Boxed kidsを既に購入している先生方には無料でインストール用ディスクを配布する予定。

← お得情報

フォニックスライムのワーキングブック(プリント)を希望者にメール配信中(無料)。連絡はミント学習教室(027-353-1091 田淵)へ。

小学校英語向け電子黒板対応教材

ネイティブ英語講師が プレーヤーミントを利用するわけ



連載

群馬でプレーヤーミントを使って授業をしているマイク先生は英語がペラペラ。英語のネイティブスピーカーだから当然です。では、どうして？

マイク先生から意外な答えが返ってきた。「プレーヤーミントを使うと子どもたちがよく覚えるんですよ。どう言うこと？」

「例えば幼稚園の授業は2週間に一度の30分授業ですが、元気な子ども相手に声を振り絞っても、次の授業に来た時には忘れていてまた一から始めていました。それがプレーヤーミントを使ってみたらちゃんと覚えていたんです。」

「ええ。お昼休みにマザーグースを口ずさみながら廊下を友だちと一緒に予算的裏づけを語っている。」

今年4月からプレーヤーミントを使い始めたばかりの高橋先生はネイティブではないが長い留学経験があり英語は堪能だ。その先生も同じ経験をした。コンピュータ授業はどうですか？

「とにかくテキストの文章を覚えるのが早くなり、コンピュータを使う以前より授業がはやく終わります。コンピュータの声を生徒が嫌がりませんか？」

「そんなこと全然ないですよ。プレーヤーミントの方が集中しているくらいです。」

教材「英語ノート」の公開とあわせて、文科省は小学校英語で電子黒板を積極的に導入する方針をほぼつきりさせてきた。

中央教育審議会の外国語専門部会に参加している文部科学省初等中等教育局教科調査官菅正隆氏はある新聞で次のように述べている。

月3日号

この施策は、授業運営を将来的には「学級担任を中心に」(教育課程部会 外国語専門部会(第4期第3回(第18回))という考え方に沿ったもので、授業運営の軸足を学級担

電子黒板導入で

教室はどう変わっていくのか？



ソフトを有効に活用するためには、液晶プロジェクトエクターや電子黒板が必要だ。それは各自治体、学校で用意していくことになりま

ここで心配されるのはかつてのコンピュータに乗ったコンピュータ教室のお寒い現状だ。どんな優れた機械も、人(教員)と方法(教材)がなければただのガラクタとなってしまう。その轍を踏まないためににはどうすればよいか？

二人の体験に共通しているのはコンピュータの方が生徒が集中しているという定着が早いこと。それが授業効率をよくし、満足度を高めている。

コンピュータで最大のポイントは、音声を提供するタイミングです。生徒の視線の向きや口の動きなどをみながら、もう一度聞かせるか、次に行くか？このツボを一番知っているのは、コンピュータではなく担任です。担任力を引き出す電子機器、これがキーワードです。

教師用の指導資料と電子黒板などでも活用できる「英語ノート」準拠のプロジェクトエクター用デジタル教材も作成、来年度から活用できるように今年度中に配布を予定しています。

(教育家庭新聞 5)

任に移していくための支援策として電子黒板などの電子機器を有効活用するということになる。

実際、菅氏は次のよ

す。全国に年間約1500億円もの教材費が計上されていますので、それら予算を教育費として有効に用いていただきたいと思います。

児童英語を電子的一斉授業として成功させてきた長年の実績と音声重視のプレーヤーミントシステム(ムービーボックス)に注目する先生が次第に増えている理由は、このあたりにあるようだ。

ところで小学校での英語はどうでしょう。授業全体のマネジメントは学級担任がやり、音声面などの専門的な部分はTEIや地域人材などが担うチーム・ティーチングで補う(文科省)という分野方式が定着してきている。音声面を担当す

これまでの音声提示：担任
これからの音声提示：担任

ALT
電子黒板

電子授業で 担任力を引き出す

コンピュータで音声を提供するときの最大のポイントは、音声を提供するタイミングです。生徒の視線の向きや口の動きなどをみながら、もう一度聞かせるか、次に行くか？このツボを一番知っているのは、コンピュータではなく担任です。担任力を引き出す電子機器、これがキーワードです。